

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

国語

科目 国語表現

教科：国語

科目：国語表現

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 組

教科担当者：（1組：富田薫）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（国語表現（東京書籍））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 国語表現

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、伝え合う力を高めることによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	・講座の説明と基礎力の確認。 ・原稿用紙の基本的な使い方を習得する。 ・原稿用紙の応用的な使い方を身に付ける。	・漢字・語句テスト。 ・原稿用紙の使い方などの基本を習得する。	○	○		【知識・技能】 ・定期テスト・プリント 【思考・判断・表現】 ・定期テスト・プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	6
	小論文初級	・小論文の基本的な書き方について学ぶ。 ・課題の趣旨を的確につかみ取る。 ・要約文に取り組む。	○	○	○	【知識・技能】 ・定期テスト・プリント 【思考・判断・表現】 ・定期テスト・プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	小論文中級	・適切な段落構成による論述力を身に付ける。 ・自分の考え方を伝える技術を身に付ける。 ・具体例や根拠になる文献等を収集する。 ・具体的に書く能力を身に付ける。	○	○		【知識・技能】 ・定期テスト・プリント 【思考・判断・表現】 ・定期テスト・プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	8
	小論文中級	・自己推薦文や志望動機文の導入と下書き。 ・自己推薦文や志望動機文の骨子をまとめる。	○	○		【知識・技能】 ・定期テスト・プリント 【思考・判断・表現】 ・定期テスト・プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	7
定期考査						○	○		1	
2 学期	小論文発表	・資料型・グラフ型・課題文型への対応 ・段落構成を工夫し、理解しやすい文章を書く力を身に付ける。 ・時事問題等の課題文に対応できる力を身に付ける。	○	○		【知識・技能】 ・定期テスト・プリント 【思考・判断・表現】 ・定期テスト・プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント		1		14
	志望動機文	・志望動機文への取り組み		○		【知識・技能】 ・定期テスト・プリント 【思考・判断・表現】 ・定期テスト・プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
3 学期	面接 小論文完成	・面接への取り組み ・小論文の応用力を身に付ける。	○	○	○	【知識・技能】 ・定期テスト・プリント 【思考・判断・表現】 ・定期テスト・プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント				17
	定期考査						○	○		1

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 地歴 科目 地理総合

教科：地歴 科目：地理総合 単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組

教科担当者：（ 1 組：西田 真 ）

使用教科書：（ 東京書籍「地理総合」、帝国書院「新詳高等地図」 ）

教科 地歴 の目標：

- 【知識及び技能】 地理的な事象や歴史について基礎的な知識を身に付け、自然環境と人間生活の関連を理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断する力や、議論する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 学習に興味関心を持ち、地歴分野を主体的に学ぶ資質・能力を育成する。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理的な事象に関する基本的な知識を身に付け、自然環境と人間生活の関連を理解する。	記述や資料、地図から情報を読み取ったり、他者との意見交換を通して、地理的事象を考察し、文章や白地図、GISを活用して表現する。	学習に興味関心を持ち、地理を主体的に学ぶ資質・能力を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	●私たちが暮らす世界 【知識及び技能】 地理を学ぶための基礎知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な時差計算を習得する。 【学びに向かう力、人間性等】 地理に関心を持つ。	・世界の主な国と都市 ・緯度経度 ・時差計算 ・地球儀と世界地図 ・都道府県 ・日本の位置と領域	【知識・技能】 ・国名や都道府県名、緯度経度、日本の領域など基礎的な知識を身に付けているか。 【思考・判断・表現】 ・経度を理解し時差計算ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返りを行っているか。	○	○	○	6
	●地図や地理情報システムの役割 【知識及び技能】 地図に関する基礎知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 地形図やGISの基本的な読み取り方を習得する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な事象を関連付ける。	・地図の種類 ・地形図のルール ・主題図の種類と読み取り ・地理情報システムと地図	【知識・技能】 ・地図記号など地形図を読みとるための基礎知識を身に付けているか。 【思考・判断・表現】 ・主題図から情報を読み取ることが出来るか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返りを行っているか。	○	○	○	4
	●資料から読み取る現代世界	・交通の発達 ・情報通信の発達	【思考・判断・表現】 ・主題図や資料を読み取りまとめる。			○	1
	定期考査			○	○		1
	●資料から読み取る現代世界 【知識及び技能】 主題図や統計資料の読み取り方を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 国を超えた人々のつながりを具体的な事例と関連付けて捉える。	・国境をこえる人々の移動 ・拡大する貿易 ・つながる世界、多極化する世界	【知識・技能】 ・主題図や統計資料の読み取り方について、基礎的な技能を身に付け、適切に読み取ることができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返りを行っているか。	○		○	4
	●生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 食文化、宗教、言語という文化の基礎知識を身に付け、特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文化の共通・相違点を比較し、文化と自然環境の関連を考察する。	・文化の地域性と多様性 ・宗教と人々の暮らし	【知識・技能】 ・文化の地域性と多様性、宗教に関する基礎知識を身に付けているか。 【思考・判断・表現】 ・文化の共通・相違点を比較し、文化と自然環境を関連付けて考察できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返りを行っているか。	○	○	○	5
	●生活文化と自然環境①地形 【知識及び技能】 地形の成因と特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地形と人々の生活の関連を考察する。	・山地の暮らし ・平野の暮らし ・海岸の暮らし	【知識・技能】 ・地形の成因と特徴を理解しているか。 【思考・判断・表現】 ・地形と人々の生活の関連を考察し表現することができるか。	○	○		5
	定期考査			○	○		1
	●生活文化と自然環境②気候 【知識及び技能】 気候帯ごと暮らしの特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。	・多様な気候とその分布 ・熱帯の人々の暮らし ・乾燥帯の人々の暮らし ・温帯の人々の暮らし ・亜寒帯・寒帯の人々の暮らし	【知識・技能】 ・江戸幕府開国に至るまでの背景を理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的な授業参加、学習の振り返り、を行っているか。	○		○	8
	●生活文化と産業 【知識及び技能】 自然環境と関連づけながら産業の発達と人々の生活に与える影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】	・食生活と農業の分布 ・工場立地の変化 ・商業立地と人々の生活 ・情報産業の発達と生活文化の変化	【知識・技能】 ・自然環境と関連付けながら、産業の発達と人々の生活に与える影響について理解しているか。 【思考・判断・表現】 ・自己や他者の経験や意見を基に事例を考	○	○	○	5

2 学 期	<p>自己や他者の経験や意見を基に、考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。</p>	<p>自己、他者の経験や意見を基に、考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。 	○	○	○	15
	定期考査		○	○		1

	<p>●様々な地球的課題と国際協力</p> <p>【知識及び技能】 様々な地球的課題に関する基礎知識を習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化 森林減少と砂漠化 資源エネルギーの偏在 化石燃料から再生可能エネルギー 発展途上国の人口問題 先進国の人口問題 食料需給をめぐる問題 発展途上国の居住・都市問題 先進国の居住・都市問題 民族問題・難民問題 地球的課題と国際協力 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真や図、主題図、統計資料から地球的課題の実情を読み取り理解できているか。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。 	○	○	○	10	
	定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>●持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>自然環境と防災</p> <p>【知識及び技能】 日本の地理と災害に関する基礎知識を習得する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や他者の経験や意見を基に、考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地形の特色 日本の気候の特色 地震災害・津波災害 火山の災害と恵 気象災害 都市と自然災害 防災・減災と復旧復興 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の地理と災害に関する基礎知識を身に付けているか。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己や他者の経験や意見を基に、事例を考え、文章や図などで表現する。 知識を活用し、災害の特徴を捉え、適切な対策を考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。 	○	○	○	10	
	<p>●生活圏の調査と地域の展望</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 身近な地域に関する情報を収集し、特徴を考察しまとめる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近な例を踏まえて主体的に学ぶ姿勢を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域調査 	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な地域が、地理的にどのような特徴を有しているかを調べ、まとめる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的な授業参加、学習の振り返り、探究しようとする姿勢。 			○	○	5
	定期考査			○	○		1	
							合計	
							78	

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学 科目： 数学Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 組

教科担当者： （1 組： 木村）

使用教科書： （ 数Ⅱ 705 「高校数学Ⅱ」 実教出版 ）

教科 数学 の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
三角比、集合と論証、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表し、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
いろいろな関数 ・三角関数 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 三角関数に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】 ○一般角 ・角の範囲を一般角まで拡張し、弧度法も扱うことができる。 （発問評価・課題提出・定期考査） 【思考・判断・表現】 ○三角関数 ・三角比で学んだ 180° までの正弦・余弦・正接を求めることができる。 ・一般角の正弦・余弦・正接を求めることができる。 ○三角関数の相互関係 ・正弦、余弦、正接のうち、一つの値から相互関係の公式を活用して、残りの二つの値を求めることができる。 （発問評価・課題提出・定期考査） 【思考・判断・表現】 ○三角関数のグラフ ・三角関数の周期性やグラフを理解できる。 ・三角関数のグラフをかくことができる。 （授業態度・課題提出）	○	○	○	15
定期考査			○	○		1
いろいろな関数 ・三角関数 ・指数関数 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 三角関数と指数関数に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】 ○弧度法 ・度数法から弧度法にすることがことができる。 ・弧度法から度数法にすることがことができる。 （発問評価・課題提出・定期考査） 【思考・判断・表現】 ○指数の拡張 ・指数が正の整数の場合の計算ができる。 ・0や負の指数の意味が理解できる。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>いろいろな関数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指数関数 ・複素数と方程式 ・式の計算 <p>【知識及び技能】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 <p>指数関数の意味やその基本的な性質について理解し、指数関数の相互関係などを理解できるようにする。</p> <p>また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、指数関数を活用して問題を解決する力を培う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指数法則や累乗根の性質を利用して、乗法や除法の計算を行うことができる。 <p>○指数関数のグラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指数関数のグラフがかけられる。 ・指数方程式、指数不等式を解くことができる。 <p>(発問評価・課題提出・定期考査)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○整式の乗法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までに既習している展開の計算がきちんとできる。 ・3次の乗法公式を理解し、それらを用いて式の展開をすることができる。 <p>(発問評価・課題提出・定期考査)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までに既習している因数分解の計算がきちんとできる。 ・3次の因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の因数分解をすることができる。 <p>(授業態度・課題提出)</p>	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	<p>式の計算</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 <p>複素数の意味やその基本的な性質について理解できるようにする。</p> <p>また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、複素数と方程式を活用して問題を解決する力を培う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○整式の除法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次式や2次式で割るような整式の除法ができる。 ・整式の除法の考え方を活用できる。 <p>(発問評価・課題提出・定期考査)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○分数式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な分数式の計算ができる。 ・分数式の乗法・除法の計算ができる。 ・分数式の加法・減法の計算ができる。 <p>(発問評価・課題提出・定期考査)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○複素数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・負の数の平方根の考え方を理解することができる。 ・平方根を用いた簡単な方程式が解ける。 <p>(授業態度・課題提出)</p>	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>複素数と方程式・式の計算</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 <p>複素数の意味やその基本的な性質について理解できるようにする。</p> <p>また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、複素数と方程式を活用して問題を解決する力を培う。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数の相等の意味を理解する。 ・簡単な複素数の四則計算ができる。 <p>(発問評価・課題提出・定期考査)</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○2次方程式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解の公式を使って、複素数の範囲で2次方程式を解くことができる。 ・2次方程式の判別式の意味を理解し、判別式を用いて、2次方程式の解が判別できる。 <p>(発問評価・課題提出・定期考査)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次方程式の解と係数の関係が理解できる。 <p>(授業態度・課題提出)</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
							合計
						78	

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 組

教科担当者：（1 組：長田 和子）

使用教科書：（新編 化学基礎（東京書籍））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・日常生活や社会との関連を切りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	・身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。 ・そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
			知	思	態	
1 編 化学と人間生活 【知識及び技能】 ・元素について理解している。 ・物質の成分について理解している。 ・物質には3つの状態があることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物質の分類を説明することができる。 ・物質の状態がどのような条件で変化するのか説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・元素と物質の分類、物質の三態について知識を習得しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期テスト ・小テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト ・実験プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	26
2 編 物質の構成 【知識及び技能】 ・原子の構造と元素の周期表について理解している。 ・化学結合について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・原子の構造と元素の周期表について説明することができる。 ・化学結合について説明することができる。 ・結合の種類から、結晶の状態を分類することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・原子の構造と元素の周期表について知識を習得しようとしている。 ・化学結合について知識を習得しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期テスト ・小テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト ・実験プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	26
3 編 物質の変化 【知識及び技能】 ・物質と化学反応式について理解している。 ・酸と塩基、酸化還元反応について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物質と化学反応式について説明することができる。 ・酸と塩基、酸化還元反応について説明することができる。 ・酸化剤、還元剤について説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物質と化学反応式について知識を習得しようとしている。 ・酸と塩基、酸化還元反応について知識を習得しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・定期テスト ・小テスト 【思考・判断・表現】 ・定期テスト ・実験プリント 【主体的に学習に取り組む態度】 ・出席状況 ・プリント	○	○	○	26
合計						
78						

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：（1組：中村 内田 ）

使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店 ）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】 運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 実生活に生かす運動の計画では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各種目の歴史やルールを知り、簡単な動きから複雑な動きを習得できるようにする。其々の運動種目の体の動きの着目し、より効果的かつ合理的な体の使い方ができるようにする。	体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合うことができるようにする。	運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体づくり運動 陸上競技（ハードル） バドミントン	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	16
	・体力や運動の能力など程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	スポーツテスト種目の練習測定 ソフトボール 水泳	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	16
2 学期	・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	テニス 卓球 水泳	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	16
	・体力や運動の能力など、程度や性別等の違いを超えて仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	バドミントン バレーボール サッカー	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	16
3 学期	・体力や運動の能力など程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見付け、自己のペースで成長すること。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	持久走 バスケットボール	【知識・技能】 ・自己のねらいに応じて、効果的な成果を得動の行い方があることについて、言ったり書き出したりして。 【思考・判断・表現】 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	14

		・一人一人の違いに応じた動きなどを大切に し、危険の予測をしながら回避行動をとるな ど、健康・安全を確保しようとしている。					
							合計
							78

高等学校 令和8年度（3 学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科： 芸術 科目： 書道 I 単位数： 単位 2

対象学年組： 第 3 学年 1 組

教科担当者： (1組： 中川聡)

使用教科書： (新編書道 I (大修館書店))

教科 書道 I の目標：

【知識及び技能】 ・書の創造的な諸活動(知識・表現・鑑賞)を通じ、日本及び中国等の書の歴史や文化と現代的な意義についての理解を深める。文字と書の伝統と文化についての理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】 書道の技術や表現、理解を深めると共に、芸術としての書の創造的な活動を通じて、表現をする能力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 ・書の内容や歴史を理解し、学んだ内容を活用しようとする態度を涵養する。・日常生活における書への関心を高め感受を涵養する。

科目 書道 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・書の創造的な諸活動(知識・表現・鑑賞)を通じ、日本及び中国等の書の歴史や文化と現代的な意義についての理解を深める。文字と書の伝統と文化についての理解を深める。	書道の技術や表現、理解を深めると共に、芸術としての書の創造的な活動を通じて、表現をする能力を身につける。	・書の内容や歴史を理解し、学んだ内容を活用しようとする態度を涵養する。・日常生活における書への関心を高め感受を涵養する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	・オリエンテーション ・文房四宝 ・姿勢執筆法 ・楷書の学習	・オリエンテーション(授業展開・評価方法の伝達、教科書の解説と鑑賞) ・文房四宝(用具用材・道具の扱いの解説)、姿勢執筆法 ・書体の概要、書体の変遷、書道用語 ・楷書の特徴と用筆		○		○	・知識及び技能【確認テスト、作品】 ・表現力【作品、振り返りカード、批評】 ・学びに向かう力、人間性等【授業態度、作品、振り返りカード、板書メモ】	○	○	○	4
	・楷書の学習	・九成宮醜泉銘 臨書・鑑賞 ・孔子廟堂碑 臨書・鑑賞 ・雁塔聖教序 臨書・鑑賞		○		○	・知識及び技能【確認テスト、作品】 ・表現力【作品、振り返りカード、批評】 ・学びに向かう力、人間性等【授業態度、作品、振り返りカード、板書メモ】	○	○	○	8
	・楷書の学習	・顔氏家廟碑 臨書・鑑賞 ・唐の四大家 ・北魏の書 臨書・鑑賞		○		○	・知識及び技能【確認テスト、作品】 ・表現力【作品、振り返りカード、批評】 ・学びに向かう力、人間性等【授業態度、作品、振り返りカード、板書メモ】	○	○	○	6
	・行書の学習 ・硬筆	・行書の特徴と用筆 ・蘭亭序 臨書・鑑賞 ・硬筆		○		○	・知識及び技能【確認テスト、作品】 ・表現力【作品、振り返りカード、批評】 ・学びに向かう力、人間性等【授業態度、作品、振り返りカード、板書メモ】	○	○	○	4
2 学 期	・行書の学習	・争座位文稿 臨書・鑑賞 ・顔真卿 臨書・鑑賞 ・風信帖 臨書・鑑賞 ・空海 ・三筆と三蹟の書 臨書・鑑賞 ・唐様と和様		○		○	・知識及び技能【確認テスト、作品】 ・表現力【作品、振り返りカード、批評】 ・学びに向かう力、人間性等【授業態度、作品、振り返りカード、板書メモ】	○	○	○	20
	・草書の学習 ・隷書の学習	・草書の特徴と用筆 ・真草千字文 臨書・鑑賞 ・隷書の特徴と用筆 ・曹全碑 臨書・鑑賞		○		○	・知識及び技能【確認テスト、作品】 ・表現力【作品、振り返りカード、批評】 ・学びに向かう力、人間性等【授業態度、作品、振り返りカード、板書メモ】	○	○	○	11
3 学	・篆書の学習 ・仮名の学習	・篆書の特徴と用筆 ・泰山刻石 臨書・鑑賞 ・仮名の特徴と用筆 ・仮名の成立、変体仮名 ・単体と連綿 ・蓬萊切 臨書・鑑賞 ・仮名作品の創作		○	○	○	・知識及び技能【確認テスト、作品】 ・表現力【作品、振り返りカード、批評】 ・学びに向かう力、人間性等【授業態度、作品、振り返りカード、板書メモ】	○	○	○	11

高等学校 令和8年度 (3学年用) 教科 家庭科 科目 家庭総合

教科： 家庭科 科目： 家庭総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 組

教科担当者： (高橋)

使用教科書： (実教出版 家庭総合)

教科 家庭科 の目標：

【知識及び技能】生活に関わる情報を収集、整理することの重要性を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】様々な生活課題に対応して意思決定し、責任をもって行動することが大切であることを理解する。

【学びに向かう力、人間性等】広い視野をもって生活を創造していくことや不測の事態にも柔軟に対応することの必要性を認識する。

科目 家庭総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め理解しているとともにそれらにかかわる技能を身につける。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想して課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働しよりよい社会の構築に向け、自分や家庭、地域の生活を創造し実践しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	【知識・技能】 ・栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができるようにする。 【思考・判断・表現】 ・自身の食事から食品ごとに含まれる栄養素を学び、バランスの良い食事について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって知識を深める。	第5章 食生活をつくる ①人と食物のかかわり 1 人は何を食べてきたのか 2 日本の食文化の形成 ②私たちの食生活 1 私の食生活 2 ライフステージと食生活 3 今の食卓は？ 4 食を楽しむ ③栄養と食品のかかわり 1 食品の栄養素と体の成分 2 炭水化物とその食品 3 脂質とその食品 4 たんぱく質とその食品 5 ミネラルとその食品 6 ビタミンとその食品 7 その他の食品 ④食品の選び方と安全 1 食品の選び方 2 食品を保存する 3 食品の衛生と安全	【知識・技能】 ・栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができている。 【思考・判断・表現】 ・自身の食事から食品ごとに含まれる栄養素を学び、バランスの良い食事について考え理解できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって知識を深めている。	○	○	○	27
	定期考査		○	○		1	
2 学期	【知識・技能】 ・日本と世界の食文化や食と人の関わりについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・現在の日本の食生活における課題を調査などから発見し、解決の方法について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食の安全・衛生について関心を持ち、現代の食生活における課題をやる。	⑤食事の計画と調理 1 食事摂取基準と食品摂取量のめやす ⑥これからの食生活を考える 1 日本の食材はどこから 2 食の安全と環境	【知識・技能】 ・日本と世界の食文化や食と人の関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・現在の日本の食生活における課題を調査などから発見し、解決の方法について自分の考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食の安全・衛生について関心を持ち、現代の食生活における課題について目を向けている。	○	○	○	6
	【知識・技能】 ・住まいはどのような機能を持ち人の生活がその機能とどうかかわっているか理解する。 【思考・判断・表現】 ・健康的な室内環境をつくるためのさまざまな要素を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家庭内事故や災害について学習し安全な住まい環境について知る。	第8章 住生活をつくる ①人間と住まい 1 住まいの機能 2 気候風土と住まい ②住まいの文化 1 住まいの移り変わり 2 生活様式と住まい ③住まいを計画する 1 ライフステージと住まい 2 生活行為と住まい 3 平面図を理解する ④健康に配慮した快適な室内環境 1 観光に配慮した快適な室内環境 2 住居の維持・管理 ⑤安全な住まい 1 安全な住まい 2 だれでもが快適に住まう ⑥持続可能な住まいづくり 1 住宅政策と住まいの課題 2 これからの住まい	【知識・技能】 ・住まいはどのような機能を持ち、人の生活がその機能とどうかかわっているか理解できている。 【思考・判断・表現】 ・健康的な室内環境をつくるためのさまざまな要素を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家庭内事故や災害について学習し安全な住まい環境について知識を深めている。	○	○	○	22
	【知識・技能】 ・社会福祉の意味、在の社会福祉の状況社会福祉制度のしくみについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・社会福祉や生涯を通しての社会福祉制度のしくみについて、現在の生活課題と関連させながら考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯を通しての社会福祉・社会福祉のしくみや地域での支え合いのしくみについて意欲的に理解する。	第5章 社会とかわる ①支えあって生きる 1 福祉とは 2 社会福祉制度とは	【知識・技能】 ・社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況、社会福祉制度のしくみについて理解できる。 【思考・判断・表現】 ・社会福祉や生涯を通しての社会福祉制度のしくみについて現在の生活課題と関連させながら考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯を通しての社会福祉・社会福祉のしくみや地域での支え合いのしくみについて理解できている。	○	○	○	6
	定期考査		○	○		1	
	【知識・技能】 ・ライフステージごとの特徴・課題を知る。 【思考・判断・表現】 ・自分の特徴や長所に気づき、人生を展望する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の将来とこれからの社会について考える意欲がある。	第2章 自分らしい生き方と家族 ①自立と共生 1 自立とは 2 青年期を生きる 3 ともに生きる ②ライフキャリア 1 仕事をする 2 職業労働と家事労働 3 働く人を支える社会 4 生活時間を考える ④共に生きる家族 1 家族って何だろう 2 ライフサイクルと家族 3 高齢期の家族 4 変化していく世帯構成と家族の機能 4 家族の抱える問題とそのサ	【知識・技能】 ・ライフステージごとの特徴・課題を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・自分の特徴や長所に気づき、人生を展望できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の将来とこれからの社会について考える意欲がある。	○	○	○	6
	定期考査		○	○		1	

	ホート ④家族に関する法律 1 家族法の理念と背景 2 時代に応じた民法改正 3 家族に関する法律						
3 学期	【知識・技能】 ・高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解する。 【思考・判断・表現】 ・高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何かを考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・高齢者の生活における地域社会の役割、地域福祉の重要性について考える。	第3章 高齢者とかかわる ①高齢社会に生きる 1 高齢者とは 2 高齢社会の現状と課題 ②高齢者を知る 1 高齢者の心身の変化 2 高齢者の生活 3 高齢者の生活課題に向けて ③高齢者の自立を支える 1 高齢者の生活を支える介護 2 介護の心と介護技術 ④高齢社会を支えるしくみ 1 高齢社会を支えるしくみ 2 これからの介護と課題	【知識・技能】 ・高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ・高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・高齢者の生活における地域社会の役割、地域福祉の重要性について考えている。	○	○	○	4
	【知識・技能】 知識・技能 ・生活設計とかかわらせて長期の経済設計の必要性について理解する。 【思考・判断・表現】 ・適切な家計管理について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の経済的自立を考え短期・長期の経済計画について考える。	第10章 経済的に自立する ①暮らしと経済 1. 家計と経済の関わり 2. 生活に必要な費用と管理 3. 現代の家計の傾向 ②将来のライフプランニング 1. 人生設計とお金 2. リスク管理と資産形成	【知識・技能】 知識・技能 ・生活設計とかかわらせて長期の経済設計の必要性について理解できている。 【思考・判断・表現】 ・適切な家計管理について理解できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の経済的自立を考え短期・長期の経済計画について考えたとができる。	○	○	○	4
定期考査				○	○		1
							合計
							78

高等学校 令和8年度 教科

総合 科目 総合的な探究の時間

教科：総合

科目：総合的な探究の時間

単位数：1 単位

対象学年組：第3学年 1組

教科担当者：（1組：酒巻）

使用教科書：（「人間と社会」人間としての在り方に関する教科（参考））

教科 総合

の目標：

【知識及び技能】課題解決に必要な情報の収集・整理・表現の方法を理解し、活用する

【思考力、判断力、表現力等】自己理解や進路に関する課題について考え、判断し、自分の考えを表現する

【学びに向かう力、人間性等】学習活動に関心をもち、主体的に探究しようとする

科目 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
課題解決に必要な情報の収集・整理・表現の方法を理解し、活用する	自己理解や進路に関する課題について考え、判断し、自分の考えを表現する	学習活動に関心をもち、主体的に探究しようとする

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	年間の学習内容を理解し、見直しをもつことができる。 自己理解に向けて、自分の考えを表現しようとする。	導入 ○「総合的な探究の時間」の見直しを持ち、目的を理解する。 自己理解のための自己分析 ○自己理解の在り方や生き方を明確にするため、自分の興味関心のある分野や進路を書き出し、分析する。	【知識・技能】 情報の整理をし、活用する方法 【思考・判断・表現】 自己理解に関する課題について、自分の考えを表現する 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に関心をもち、主体的に探究しようとする	○	○	○	2
	講座内容を踏まえ、自分なりの問いを設定できる。 自分の問いについて情報を収集し、整理することができる。	テーマ探究 「自分の興味関心の中から選ぶ」 ○TIPS-Type2講座Cの中から、自分の興味関心のあるテーマを1つ選択し、探究する。 ○他の生徒と中間報告や意見交換を行いながら、思考を深める。	【知識・技能】 必要な情報を収集し、整理する方法 【思考・判断・表現】 進路に関する課題について考え、自分の意見を表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に関心をもち、主体的に探究しようとする	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
	調べた内容を整理し、自分の言葉で発表することができる。	テーマ探究 「自分の興味関心の中から選ぶ」 ○探究結果をまとめ、発表を行い、発表用のポスターの作り方を身につける。	【知識・技能】 必要な情報を整理し、表現する方法 【思考・判断・表現】 進路に関する課題について考え、自分の意見を表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に関心をもち、主体的に探究しようとする	○	○	○	1
	説明会で得た情報を整理し、自分の進路について考えることができる。	○合同企業説明会に参加し、企業の特徴や、社会人として求められる資質について学ぶ。	【知識・技能】 コミュニケーション力を身につけよりよい人間関係を築くこと 【思考・判断・表現】 自己理解や進路に関する課題について考え、判断し、自分の考えを表現する 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会に役立つ言葉、世界的コミュニケーションを学ぶ	○	○	○	2
定期考査			○	○		1	
2 学期	自身の進路を踏まえ、探究テーマを設定することができる。 設定したテーマについて情報を収集し、調査内容をもとにポスター作成に取り組むことができる。	進路探究 「興味関心を進路につなげる」 ○自分の進路を踏まえて、興味関心を基にテーマを設定し、探究する。 ○リサーチクエスト、研究動機、調査、調査結果、考察、参考文献など、研究の流れが明確になるようポスターをまとめる。	【知識・技能】 必要な情報を収集・整理・表現する方法 【思考・判断・表現】 自己理解や進路に関する課題について考え、判断し、自分の考えを表現する 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に関心をもち、主体的に探究しようとする	○	○	○	5
	他者との意見交換を通して、自分の考えを深めることができる。 ポスターセッションに向けた発表準備を行うことができる。	進路探究 ○他の生徒と意見交換をし、思考を深める。 ○TIPSフォーラムを視野に入れたポスターセッションを行い、他学年に成果を発表する。	【知識・技能】 他者の意見を収集し、整理する方法 【思考・判断・表現】 自己理解や進路に関する課題について考え、判断し、自分の考えを表現する 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に関心をもち、主体的に探究しようとする	○	○	○	3
3	社会に出るにあたって必要な一般常識や時事問題について理解することができる。 社会人として求められる基本的なマナーや適切な振る舞いを理解することができる。	社会性についての理解を深める ○一般常識や時事問題などへの興味関心を高め、社会で必要とされる知識・技能を身につける。 ○外部機関の協力のもと、職業体験を行い、働くことへの考えを深め、社会人としてのマナーや振る舞いを身につける。	【知識・技能】 コミュニケーション力を身につけよりよい人間関係を築くこと 【思考・判断・表現】 自己理解や進路に関する課題について考え、判断し、自分の考えを表現する 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会に役立つ言葉、世界的コミュニケーションを学ぶ	○	○	○	3
	1年間の学習や活動を振り返り、自身の成長や課題に気づくことがで	○1年間を通して、得られた知識や情報、考えたこと等をまとめ	【知識・技能】 コミュニケーション力を身につけよりよい人				

学期	きる。	る。	間関係を築くこと 【思考・判断・表現】 自己理解や進路に関する課題について考え、 判断し、自分の考えを表現する 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会に役立つ言葉、世界的コミュニケーションを学ぶ	○	○	○	2
							合計
							22